

災害科学国際研究所

第8回「災害と健康」学際研究推進セミナー

- 日時 2017年8月30日(水) 18:00～19:30
- 会場 星陵キャンパス 医学部6号館1F カンファレンス1
- 講師 寺田賢二郎
東北大学 災害科学国際研究所
地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野 教授



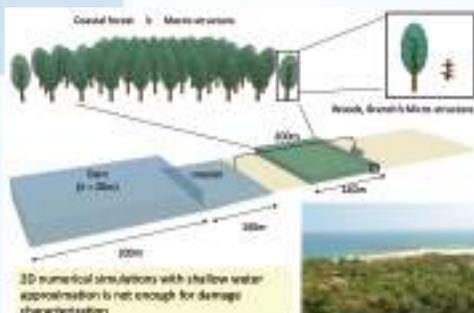
演題『災害シミュレーションの高度化と その見える化の試み～計算災害科学の確立にむけて』

寺田賢二郎先生の研究室では、コンピュータによる多重物理・化学問題の数値シミュレーション手法を開発し、様々な災害による物的・人的被害の再現・予測・可視化技術に応用することで、地域・都市の防災・減災力ならびに回復力の向上のための展開研究に取り組んでおられる。さらに、他分野の研究と連携しながら、発災時の情報伝達や意思決定プロセスの最適化や、被災後の弾力的な復元力の発揮に寄与しうる統合災害情報システムの構築を目指して、シミュレーションの結果や既存の防災情報を、わかりやすく伝えるための立体視可視化技術に関する研究も進めており、実践的な防災に役立つ技術の開発を目指しておられる。

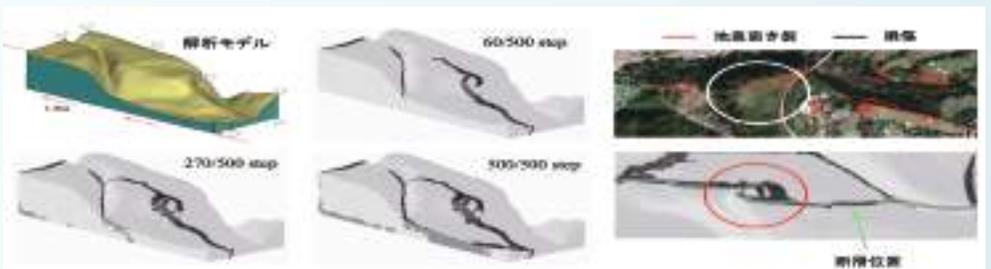
2011年東日本大震災など、過去の大災害の度に甚大な被害が発生し、その復興には多くの時間と費用を要しているが、今後発生する災害の被害を最小化し、被害を受けた状態から速やかに元の状態に回復するためには、被害の予測や事前対策の効果の検証が不可欠であり、それを達成する上で数値シミュレーションは強力な武器となる。

本セミナーでは災害予測のための数値シミュレーション技術の現状と課題を整理し、災害時におけるより複雑な物理現象を精度良く再現するための高度化の試みを紹介するとともに、計算結果として得られる災害情報が防災の意思決定にも役立つような効果的な見せ方について考察する。

○主催「災害と健康」プロジェクトユニット ○共催「レジリエント社会基盤」プロジェクトユニット



防潮林のマルチスケール解析



熊本・阿蘇地方の実地形を対象とした表面地震断層の数値シミュレーション

※本セミナーは医学系研究科系統講義コース科目等指定科目に振り替えることができる特別セミナーを兼ねています

【お問い合わせ先】
東北大学災害科学国際研究所
災害と健康プロジェクトユニット
TEL: 022-728-2372
メールアドレス: dhu_jimu@irides-dpsy.med.tohoku.ac.jp

